

平成26年度

事業計画書

平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

平成26年度 事業計画

1. 方針

平成26年度は、近年の景気停滞にともなう基本財産利息収入の減少と、これを補う資金の不足のため、前年度同様、経費の削減をはかるとともに、振興事業（発表会開催、会報発行、教材頒布事業など）の実施にあたっては、収支のバランスを考慮して行うものとする。

事業としては、吟剣詩舞の発表大会、各種コンクール並びに講習会の実施といった恒例の主要行事の充実を図ると共に、少子高齢化等への対策並びに幼少年への普及促進のための調査研究並びに政策委員会等の開催を行う。また、必要に応じて吟剣詩舞普及用パンフレットの作成頒布を行うものとする。

ほかに事業内容で前年度とかわる点は、平成26年2月23日（日）に福島県郡山市の「郡山ユラックス熱海・多目的ホール」で開催した全国吟剣詩舞道大会は、11月9日（日）に日本武道館で、日本財団助成対象事業として開催される。また、本年度は隔年実施の全国剣詩舞群舞コンクールが行われない年度であり、剣詩舞指導者対象の講習会（剣詩舞道大学）の開催を行う。

2. 事業計画

(1) 一般事業

① 組織化促進事業

全国地区連絡協議会代表者会議の開催を行う。

② 協力援助事業

優秀団体の行う行事に対する協力及び援助を行う。

イ. 傘下団体の行う行事に対する協力援助

ロ. 全国高等学校総合文化祭・吟詠剣詩舞部門発表会に対する協力援助

ハ. 青少年への吟剣詩舞育成推進のための協力援助

③ 研究会開催事業

吟剣詩舞に関する各種研究会の開催を行う。

イ. 吟詠専門委員会の開催

ロ. 剣詩舞専門委員会の開催

ハ. 普及促進のための政策委員会等の開催

④ 功労者表彰事業

平成26年度吟剣詩舞大賞受賞者の選考と表彰を行う。

(2) 普及事業

① 海外普及事業

吟剣詩舞の海外普及状況調査及び国際親善交流事業への協賛を行う。

② 広報活動事業

吟剣詩舞の周知宣伝のための広報活動を行う。

イ. インターネットの吟剣詩舞ホームページの運用推進を図る。

ロ. 吟剣詩舞の広報に関する団体等との協働推進を図る。

ハ. 新聞、雑誌などへの広告掲載並びに掲載誌等の購入を行う。

ニ. 吟剣詩舞普及用パンフレットの作成頒布を行う。

(3) 振興事業

① 発表会開催事業

吟剣詩舞普及のための発表会の開催を行う。

秋篠宮妃総裁恩賜財団母子愛育会奉賛・平成25年度全国名流吟剣詩舞道大会の開催

日 時 平成26年5月5日（月曜日・こどもの日）

場 所 さっぽろ芸術文化の館・ニトリ文化ホール（札幌市）

② 吟詠教本発行事業

吟詠統一教本（既刊図書）の作成配布を行う。

③ 会報発行事業

吟剣詩舞に関する広報並びに教養誌として月刊「吟剣詩舞」の発行を行う。④ 教材頒布事業

吟剣詩舞道吟詠集（テープ及びCD）の作成配布及び吟剣詩舞道伴奏集

（テープ及びCD）の監修指定など、吟剣詩舞に関する教材の製作頒布並びに既刊教材の頒布促進を行う。

(4) 日本財団助成事業

① 事業名「吟剣詩舞普及振興のためのコンクールの開催」計画書

目 的

吟剣詩舞の振興に伴い、吟詠、剣舞及び詩舞のそれぞれの分野においてより高度な技術及び芸術的向上の機会が求められている。そのため、吟詠、剣舞及び詩舞の各分野の全国コンクールを開催することにより、吟詠、剣舞及び詩舞のより高度な技術及び芸術的向上を図り、もって吟剣詩舞の向上に資すると共にひいては日本文化の向上に寄与することを目的とする。

目 標

各コンクールそれぞれボランティアによる大会役員に支えられ県単位の第一次予選、全国7地区単位の第二次予選及び全国大会として決勝、決選大会を行うもので、近年は特に幼少年の育成に力をいれ確実に出場者を確保しているが、これをさらに推し進めたい。また、少壮コンクールにおいては、少壮吟士としての称号を付与するための厳しい審査基準及び年齢制限を設け、吟詠指導者の公の選出機関としての役目を引き続き果たしたい。

事業内容

a. 名 称

(a) 平成26年度全国剣詩舞コンクール

- ・ 日時：平成26年9月14日
- ・ 場所：笹川記念会館
- ・ 参加者：決勝136名（予選8,500名）

(b) 平成26年度全国吟詠コンクール

- ・ 日時：平成26年9月15日
- ・ 場所：笹川記念会館
- ・ 参加者：決勝150名（予選18,000名）

(c) 第43回全国少壮吟詠家審査コンクール

- ・ 日時：平成27年3月8日
- ・ 場所：笹川記念会館
- ・ 参加者：決選138名（予選5,500名）

b. 内 容

県単位及び全国7地区で予選を行い、吟詠及び剣詩舞コンクールは、すぐれた吟剣詩舞道者の発掘を行うとともに、少壮コンクールは、吟詠指導者の研鑽の場とし、すぐれた吟詠家

を選出する公の機関とする。

事業費総額及び助成金等

事業費総額	16,500,000円
助成金	13,200,000円
助成事業収入	3,300,000円（自己負担）

② 事業名「吟剣詩舞普及振興のための講習会の開催」計画書

目的

吟剣詩舞の振興に伴い、吟詠、剣舞及び詩舞のそれぞれの分野においてより高度な技術及び芸術的向上が求められている。そのため、吟詠、剣舞及び詩舞の各分野の指導者を対象にした講習会を開催することにより、吟詠、剣舞及び詩舞のより高度な技術及び芸術的向上を図り、もって吟剣詩舞の向上に資すると共にひいては日本文化の向上に寄与することを目的とする。

目標

全国から選ばれた吟詠の指導者を受講対象者とした夏季吟道大学及び少壮吟士称号保持者の研修を目的とした特別研修会を開催し、吟剣詩舞の現状の把握と一層の芸術的向上を図るとともに、普及振興のための研究討議を行い、吟詠の全国的レベルでの向上と吟詠の芸術的向上を担う少壮吟士の芸術的レベルアップを図りたい。

事業内容

a. 名称及び開催場所

(a)平成26年度夏季吟道大学

- ・ 日時：平成26年7月19日、20日（2日間）
- ・ 場所：成田東武ホテルエアポート
- ・ 参加者：140名

(b)平成26年度少壮吟士夏季特別研修会

- ・ 日時：平成26年8月9日、10日（2日間）
- ・ 場所：成田東武ホテルエアポート
- ・ 参加者：80名

(c)平成26年度剣詩舞道大学

- ・ 日時：平成27年2月7日、8日（2日間）
- ・ 場所：成田東武ホテルエアポート

- ・ 参加者：140名

b. 内容

夏季吟道大学は全国から選ばれた吟詠指導者を、剣詩舞道大学は全国から選ばれた吟詠指導者を、少壮研修会は少壮吟士を対象に開催する研修会で、吟剣詩舞の幹部指導者の養成機関とする。

事業費総額及び助成金等

事業費総額	11,800,000円
助成金	9,440,000円
助成事業収入	2,360,000円（自己負担）

③ 事業名「吟剣詩舞普及振興のための武道館大会の開催」計画書

目的

吟剣詩舞の振興に伴い、吟詠、剣舞及び詩舞の各分野において高度な技術及び芸術的向上の機会が求められている。そのため、武道館にて団体参加による全国吟詠合吟コンクール、全国コンクール優勝者演舞、特別企画構成吟剣詩舞を開催することにより吟詠、剣舞及び詩舞のより高度な技術、芸術的向上を図り、吟剣詩舞の向上に資すると共に日本文化の向上に寄与することを目的とする。

目標

吟剣詩舞の愛好者が目標とする全国吟剣詩舞道大会は、全国の各流宗家、会長等が一堂に会し日頃の研鑽の成果を発表する場で全国から約7,000名が参加するものである。中でも次世代を担う幼少年が出演する特別演舞なども行われ、礼節を重んずる吟剣詩舞道をもって幼少年の健全育成を図ろうとするものである。

事業内容

a. 名称及び開催場所等

「第46回全国吟剣詩舞道大会の開催」

- ・ 日時：平成26年11月9日
- ・ 場所：日本武道館
- ・ 参加人員：約7,000人

b. 内容

- ・ 各コンクール優勝者の出演
- ・ 幼少年による特別企画吟剣詩舞

・ 全国吟詠合吟コンクール

事業費総額及び助成金等

事業費総額	68,520,000円
助成金	54,810,000円
助成事業収入	13,710,000円（自己負担）